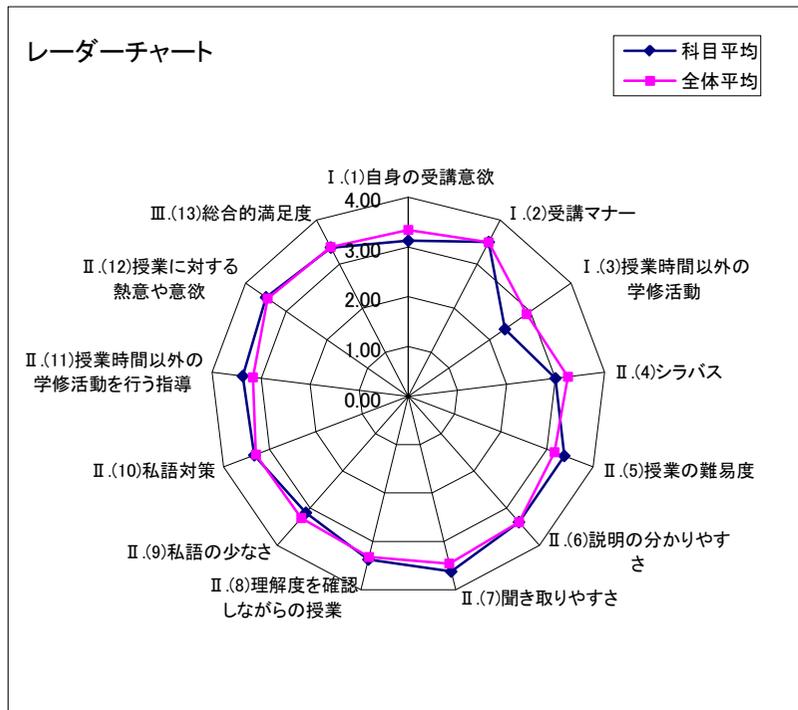
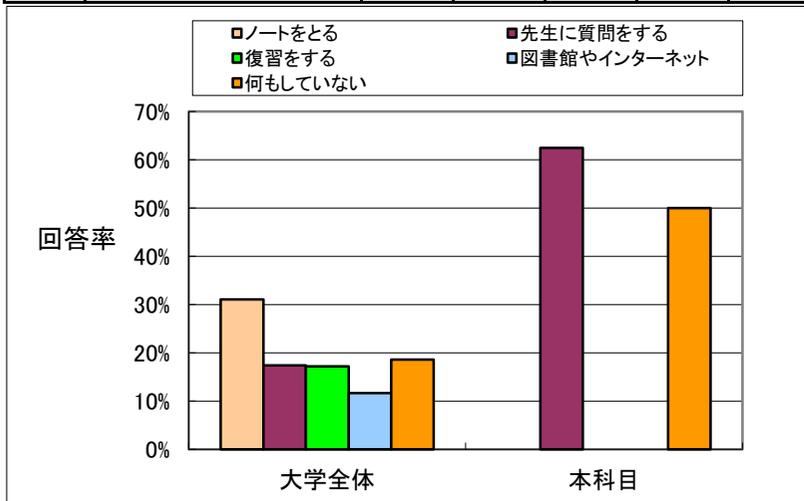


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

＜※複数選択可項目＞	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14) 授業を理解するための工夫	0.0	62.5	0.0	0.0	50.0



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.13	3.34
	I.(2)	3.50	3.49
	I.(3)	2.38	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.00	3.26
	II.(5)	3.38	3.16
	II.(6)	3.38	3.38
	II.(7)	3.63	3.46
	II.(8)	3.38	3.32
	II.(9)	3.13	3.27
	II.(10)	3.33	3.30
	II.(11)	3.38	3.17
	II.(12)	3.50	3.46
	総合評価	III.(13)	3.38

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.00	3.25
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.34	3.31
II.(4)~(12)		
総合評価	3.38	3.39
III.(13)		

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2012年度 後期
時間割番号	4205
科目名	日本語コミュニケーションⅡ
教員名	

①授業計画の達成度について

前期「日本語コミュニケーションⅠ」が話し言葉を学習するのに対して、後期「日本語コミュニケーションⅡ」では書き言葉を学習する。手紙文は構成や用語について認知できていた。論理的な文章の書き方、文章を書くための素材(表やグラフ)の分析や考察ができるについては、一人一人の理解度に差があった。「取り合えず、書いておけ」という感じで、思慮深くという姿勢が全体的に欠ける。じっくり考えること、集中すること、我慢強くということがあまり得意ではない。よって、もう少しゆっくと考えればできるであろう学生も、大体で書いているために物足りないものとなっている。全体的には6~7割の達成度である。

②授業の進め方について

個人差があり、個別に質問や不明点に対応した。時間がかかる。質問しないでじっとしている学生もあり、全体的に目を配り学生の理解を確かめながら授業を進めた。受講生もやる気を出してその時間の課題には取り組み、提出も遅延なくできた。ただ、後半は欠席者が多くなり、進度に大きなばらつきができ、指導が難しくなった。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

学生が積極的に取り組んでいたため、注意することが少なく楽しい授業ができた。積極的な発表・質問等、次年度も学生の積極性を引き出したい。